



国立病院機構(NHO)宇都宮病院院内広報誌



WAKA-AYU



基本理念

私たちは、地域から強く信頼される病院を目指します
そのために、誠実で前向きで勤勉であるよう努めます

目次

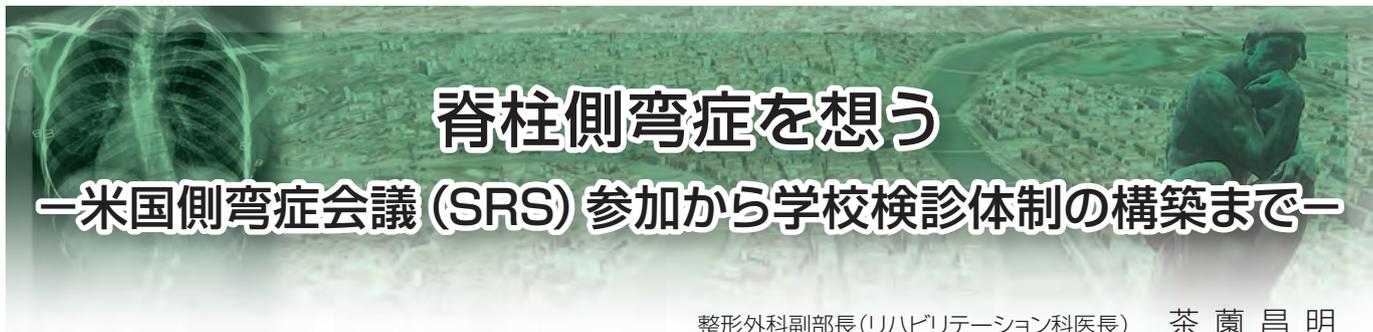
20 **春** 14

第31号

広報誌 / 年4回発行

発行：国立病院機構 宇都宮病院
発行日：平成 26年 4月 1日
発行責任者：沼尾 利郎

- 脊柱側弯症を想う 1
- 医療連携学術講演会 2
- 褥瘡予防「優秀賞」..... 3
- 医療安全「院長賞」..... 3
- 「糖尿病と薬」開催しています 4
- 朝ごはん、ちゃんと食べていますか? 4
- 内視鏡センターのご挨拶と最新の
内視鏡検査について 5
- 成人を祝う会 6
- ハローキティがやってきた! 6



脊柱側弯症を想う

—米国側弯症会議 (SRS) 参加から学校検診体制の構築まで—

整形外科副部長(リハビリテーション科医長) 茶 蘭 昌 明

Bonjour! 昨年9月にSRSという脊柱変形に関する国際学会で発表させていただきました。4年に1度米国外で開催されます。今回の開催地は冒頭での挨拶でも判りますようにヨーロッパを代表する観光大国であるフランス南部に位置し、美食の街として名高いリヨンでした。日本でも有名なトロワグロ、ポール・ボキューズなどのフレンチレストランはここリヨンで生まれました。せっかくの渡仏なのでリヨンに入る前にパリに1泊してマストな観光名所、凱旋門(写真1)から始まりエッフェル塔、軍事博物館、オルセー美術館、コンコルド広場、シャンゼリゼ通り、翌朝にルーブル美術館まで弾丸トラベラーの如く駆け足でみてきました。著名な彫刻家、ロダンの「考える人」はそのレプリカが世界中にあります。本家本元はここロダン美術館にあります(写真2)。ちなみに英語では「The thinker」といいます。当日はあいにくの小雨模様でしたが、その美術館の入り口でみかけたものに目が釘付けでした。それは傘袋自動装着器、「傘ぼん」です(写真3)。人への気配り考えたメイドインジャパンの商品がここでも使用されていることに日本人として大変誇らしく思いました。最近、フランスでは小綺麗な箱にさまざまな味付けで彩りよく詰めた弁当が大人気だそうです。「Bento」という言葉がフランスの辞書に掲載されるまでになっています。「キャラ弁」もフランス女子で大流行です。その他にも日本酒、和食しかり。安倍内閣の成長戦略である「日本再興戦略」としてクールジャパンが推進されれば日本の経済も先行き明るいのではないのでしょうか。



さて、少々話がそれましたので本題に戻ります。パリからTGVに乗り約2時間でリヨンへ到着しました。学会はローヌ川の畔にあるコンベンションセンターで行われました(写真4)。世界中から脊柱変形を専門とするドクターが集結し、3日間で口演が130題、E-posterが100題と幼児から高齢者の脊柱変形に関する研究成果が発表されました。採択率が約10%と大変狭き門ですが、筆者は幸運にも前回と今回の2年連続で発表することができました。今回の演題名は「Peak height velocity as a predictive factor for curve progression in patients with late-onset idiopathic scoliosis」です。要するに「学童期にみられる脊柱側弯が進行するのかもしれないのか」ということに関してROC解析という手法を用いて身長発育ピーク時のCobb角を知ることで予測できないかということです。結論としては「PHV時のCobb角31.5°が進行するか否かのカットオフ値(感度78%, 特異度82%, AUC: 0.91)として推奨される」という結果でした。最近、米国では患者の唾液からDNAを抽出・分析して思春期脊柱側弯症の進行を予測する検査が商業化しています。所謂、遺伝子診断です。しかし、必ずしも検査キットの期待値と同等とならないことや検査費用が高額(約\$3,000)なことなどから検査自体の信頼性が問われている状況です。脊柱側弯症はその発症・進行に関して遺伝的背景と環境因子の両者が関与する多因子遺伝性疾患といわれており、その原因解明について更なる研究の推進が期待されるところであります。



写真2

ご存知ない方も多いとは思いますが、我が国では学校保健安全法において小・中学校での学校医による脊柱検診が義務づけられています。では宇都宮市における脊柱側弯症検診体制はどうでしょうか。残念ながら現在のところ十分なものではないようです。昨年、沼尾病院長の取り計らいで筆者と市内で開業されている内科・小児科の先生、教育委員会の方々と宇都宮市における側弯症検診体制について話し合いをする機会を得ました。複数回の会合を経て2014年4月から小学校4年生から中学校1年生を対象に一次検診を重点的に行うことになりました。その詳細について述べますと、事前に側弯症に関するプリントを保護者へ配布し関心を持ってもらうことに加えて毎年の検診で使用する保健調査票に側弯症のチェックポイントを盛り込んでいただき、検診前に各家庭で子どもの脊柱の状況を把握していただくこととしました。また、市内の整形外科開業医の先生方にご協力いただき二次検診体制も構築しました。宇都宮市における脊柱側弯症患者の早期発見、早期治療に役立てばと考えております。

写真1



側弯症治療のゴールは真っ直ぐな脊柱の獲得がゴールではなく、成長終了時にバランスのとれた脊柱アライメントが形成され、将来的に疼痛や呼吸障害が生じにくい脊柱を獲得することです。「背骨は曲がっていても心は真っ直ぐに、曲げさせない」、これを合言葉に診療面でサポートしていくつもりです。



写真3



写真4

医療連携学術講演会



■「進化する糖尿病診療と医療連携」

獨協医科大学内分泌代謝内科教授 麻生好生 先生

外来診療部長 佐藤 稔

第18回医療連携学術講演会は、平成26年2月13日に開催されました。一般講演は、当院薬剤科の山田豪樹先生により「当院における糖尿病患者の分析と薬剤指導の実際」という内容が話されました。次に、獨協医科大学内分泌代謝内科の麻生好生教授による特別講演の内容は、糖尿病人口の増加に伴い、今後の糖尿病診療の重要性、現代の食習慣の問題点、特に栃木県の食生活事情（餃子消費第一位、ステーキ宮、爆弾ハンバーグなどの高カロリー食の店舗の存在）や運動事情（公共交通機関が少ないためのマイカー生活による運動不足）について、実体験を交えて、面白く、わかりやすくお話しただきました。また、アジア人と欧米人の糖尿病の特徴の違いから、新しい治療薬であるDPP-4阻害薬の日本人における有用性、今後の糖尿病治療の展望など日常臨床に即役立つ講演でした。

■「高齢者救急の実際 ～内科救急のクリニカル・パール～」

藤沢市民病院呼吸器科主任部長 西川正憲 先生

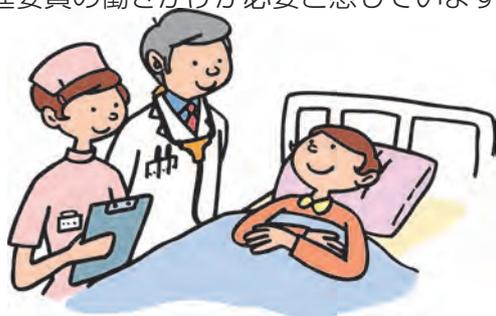
内科系診療部長 伊藤 雅史

第19回医療連携学術講演会は、平成26年2月27日に開催されました。一般講演は、獨協医科大学病院救急看者認定看護師の横地 瑞先生により「高齢者における看護の実際」という内容が話されました。続いて、藤沢市民病院呼吸器科主任部長（横浜市立大学臨床教授）の西川正憲先生による特別講演は、呼吸器科領域の研究分野において各種受賞歴があり、臨床の面においても日本救急医学界のICLSのインストラクター、ディレクターも務められる多分野でご活躍の先生にふさわしい内容でした。テーマは、当院の日常診療にまさしく当てはまる「高齢者救急の実際」についてでした。高齢者ならではの特徴、ピットフォールに関して多彩な症例提示を用いてわかりやすくお話しいただき、vital徴候・病歴聴取の重要性、サルコペニア・虚弱の理解、家族への十分な事前説明による訴訟対策、科の垣根を越えたチーム医療の重要性について講演していただきました。

褥瘡予防に取り組んだ優秀賞の発表内容の紹介 「統一した体圧分散マットレス管理」

東5病棟看護師 手塚典子

入院患者の高齢化とともに、褥瘡（じょくそう＝とこずれ）発生のハイリスク患者も増え、入院時に体圧分散マットレスが必要となります。その中でもエアマットは褥瘡発生の予防に効果があり利用されています。しかし、管理のポイントが不明確で、褥瘡回診で体重設定が合っていないなど指摘されています。東5病棟は統一した体圧分散マットレス管理の取り組みを発表しました。病棟スタッフへの取り組み前のアンケートでは、約65%が体圧分散マットレスに関心がないと回答しています。関心を持つため取り組みを行い、その中でエアマット管理チェックリストを作成し使用開始しました。病棟スタッフの約100%が体圧分散マットレスを意識するようになり、エアマット管理チェックリストも100%が効果的と感じ、エアマット管理の必要性を確認することができました。今後も継続したNST推進委員の働きかけが必要と感じています。



「院長賞」いただきました

外来副看護師長 小倉正美

当院では、毎年各部署が医療安全の取り組みを行い、発表会を行っています。そこで外来は、昨年度の取り組みで「急患室改造計画」を行い、第1位となる「院長賞」を頂きました。外来は、いろいろな症状の方が来院し、特に急患室は状態の悪い方や救急搬送される方が多くいます。また、急患室は外来スタッフや当直師長、救急当番や各科の先生など多くの人が利用しています。

ある日の急患室で、患者が救急搬送されてきた時、救急カートや急患室が乱雑で使いづらかったという状況がありました。そこで、誰でも使いやすくスムーズに患者対応ができる急患室をめざして取り組みを開始しました。外来スタッフ全員で、救急カート・物品棚・流し台の水回り・包交車など急患室全体を分担。収納グッズや収納方法を工夫し、当直師長や先生方に意見を頂きながら、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)に沿って改造することができました。

今回この賞を頂くことができたのは、スタッフ全員が同じ目標に向けて協力できた結果です。外来スタッフや協力してくださったみなさんに感謝し、これからも快適な急患室を維持できるようにしたいと思います。



「糖尿病と薬」開催しています

薬剤科薬剤師 田部井 彰

薬剤科では、平成25年12月より糖尿病で使用する薬について、治療を受けられる患者さんの助けになるように、糖尿病の治療に使う薬や低血糖時の対処方法の説明会「糖尿病と薬」を月に2回開催しています。

現在糖尿病の治療を行っている患者さんへの声かけや、院内でのポスター掲示によって患者さんにお知らせしています。



使用している指導資料



実際に行っている指導風景



院内に掲示中のポスター

どなたでも自由に参加できますので、毎月第2、第4水曜日の14時半から15時の30分間、よろしければ足を運んでみて下さい。

朝ごはん、ちゃんと食べていますか？

栄養管理室長 内山 智子

一日の始まりは朝食からです。その日の活力の源を作り出すのは朝食です。朝食、昼食、夕食と1日3回食べることは、ほとんどの国で同じ習慣のようです。しかし、厚生労働省の調査によると、朝食を食べない人が年々増えているようです。実は、朝食には大事な役割があります。朝食の大切さと食べるコツをチェックして、忙しい朝も毎日しっかり食べる習慣をつけましょう。

■ 朝食の大事な役割

1. 腸の働きを活発にし、集中力や記憶力が高まる
2. 体温が上昇し、代謝が高まる
3. 太りにくい体をつくる
4. 便秘解消
5. 生活習慣病を予防



■ 朝食に必要なことは以下の3つです

1. ごはんやパンなどのでんぷん質を多く含む炭水化物をとる
2. 牛乳やヨーグルト、卵、チーズなどの良質なたんぱく質をとる
3. 野菜や果物などのビタミン、ミネラル類をとる

～朝食を手軽に食べる工夫を～

1. まずはヨーグルトと果物など軽いものからスタート
2. パンに具をのせたり、はさんだり
3. 市販の食材を利用する



もし、朝食をしっかり食べるのが難しければ、今の朝食にひと工夫して、バランスのよい朝食に近づけるようにしましょう。朝食を食べていなければ、何か食べるようにしましょう。それができるようになったら、もう1品足してみましょ。

「朝ごはんちゃんと食べて、朝から元気に！」

内視鏡センターのご挨拶と 最新の内視鏡検査について

内視鏡センター長(消化器内科医長) 大木 了

当院では、病院改革プロジェクトにともなう内視鏡検査件数の増加に対応し、平成19年9月20日より内視鏡センターの運営を開始しております。当センター消化器内視鏡部門では、以前の検査時に苦痛が強かった患者さんへは経鼻内視鏡の使用を促し(鼻腔が狭い方や経鼻への抵抗がある方へは細径経口での使用)、悪性腫瘍の早期発見・観察に対しては拡大内視鏡やNBI(狭帯域光観察)による特殊光観察システムの使用を行っております。このシステムによりポリープ等の表面構造の観察を行い、良悪性の鑑別、内視鏡的に切除可能かの判別、不要な生検(生検により後日の内視鏡的切除が困難になる場合がある)を行わずに済む等、より精度の高い検査治療を行うことができます。

また、消化器内視鏡検査治療の分野で昨年大きな変化がありました。それは、日本消化器内視鏡学会が、日本循環器学会、日本神経学会、日本脳卒中学会、日本血栓止血学会、日本糖尿病学会と合同で“抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン”をあらためて作成しました。従来の日本消化器内視鏡学会のガイドラインでは、血栓症発症リスクを考慮せずに、抗血栓薬の休薬による消化器内視鏡後の出血予防を重視したものでしたが、今回は抗血栓薬を持続することによる消化管出血だけでなく、抗血栓薬の休薬による血栓塞栓症の誘発にも配慮したガイドラインが作成されました。このガイドラインにより、各種薬剤により異なる部分もありますが、一般的な内視鏡による観察及び生検は休薬なしでほぼ施行可能となり、低危険度及び高危険度の処置に関しては、休薬せずに施行可能なものもあり、血栓症発症のリスクをおさえたものになっています。

最後に、当センターでは本年4月より透視室の改装に伴い、主に下部消化管内視鏡検査の枠を増加し、緊急及び予約患者さんへの早期検査体制の拡充を行っていきます。関係各員地域医療の担い手として、最大限努めていく所存ですので、引き続き当センターをよろしくお願いいたします。



内視鏡洗浄機



内視鏡機器

祝

祝

祝

成人を祝う会

祝

祝

祝

療育指導室 児童指導員 平山 剛史

今年度重症心身障害病棟では、2名(男女1名ずつ)の利用者が晴れて成人を迎えられました。あいにくインフルエンザ発症の影響で、各病棟別々の開催となりましたが、主賓の利用者2名は、普段着る機会のないスーツや振り袖姿がとても輝いて見え、ご家族は感無量だったことと思います。

会場には多くの利用者と共に、病院長はじめ宇都宮市職員や真岡市職員の方、岡本特別支援学校長、家族の会長等からお祝いの言葉を頂き、「世界に一つだけの花」をみんなで合唱したり、「思い出のスライド」を観ながらご本人の成長の跡をたどったり、会場はたくさんの笑顔や涙で溢れていました。人生の節目である「成人式」をみんなでお祝いできたことが本当に嬉しかったです。

これからも、成人となられる方を病棟で一緒に生活する仲間や病院関係者、そして多くの関係者を含め、みんなでお祝いする場を設けて、利用者一人ひとりの幸せにつなげていきたいと思っています。



ハローキティがやってきた!

療育指導室 主任保育士 松本 訓子

2014年3月26日(水)重症心身障害病棟に「ハローキティ」が訪問してくれました。

フコク生命の社会貢献事業の一環として行われた「ハローキティ」の病院訪問では、病棟のみならず院内保育所にも足を運んでくださり、利用者さん・子供たちを中心に家族・スタッフと触れ合い、記念写真撮影を行いました。身近にキティちゃんを迎え、泣き出す子もいましたが、キティちゃんとの「はい!ポーズ」ににっこり!。また、カメラを見るよりキティちゃんをじっと見つめていた人。恥ずかしげに横を向いてしまった人。驚きながらも満面の笑顔で応えてくれた人。キティちゃんの暖かい手に包まれてみんな「しあわせ~」な気分になり、普段は見られない様々な表情がたくさん見られました。病棟以外のスタッフも加わり楽しいひとときを過ごすことができました。

(C)1976.2014 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO. G550083



編集後記

今年の冬は記録的な大雪が降り、交通や流通等に大きな影響がありました。しかし、そうした厳しい環境の中でも木々は着実に成長を続け、春になれば梅や桜が花開き、私たちの目を楽しませてくれます。

春は植物たちから生命力を感じて、爽やかな気分になる季節ですね。自然の中でハイキングするのもいいものですね。



【水芭蕉 尾瀬】

経理係長 佐藤 正志

表紙撮影:西5病棟職員 赤川一則さん

外来診療担当医表

(平成 26年 4月 1日現在)

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合診療科(初診) 内科		沼尾(第1・3・5週) 長谷衣佐乃(2週) 野村 由至(4週)	池田 直哉	安西真紀子	沼尾(第2・4・5週) 勝部 乙大(1週) 森田 弘子(3週)	崎尾 浩由
糖尿病・内分泌内科	午前	佐藤 稔	菊池 朋子	友常 孝則	佐藤 稔	森 豊
	午後	佐藤 稔	菊池 朋子		佐藤 稔	
神経内科	午前	川上 俊幸			伊藤 雅史	
	午後	川上 俊幸			伊藤 雅史	
物忘れ外来(午後・予約制)				伊藤 雅史		
消化器内科	午前	櫻井 紘子	菅谷 洋子	宮腰 大輔	大木 了	菅谷 洋子
	午後		菅谷 洋子			菅谷 洋子
呼吸器内科	午前	森田 弘子	沼尾 利郎	長谷衣佐乃	野村 由至	勝部 乙大
	午後	森田 弘子	沼尾 利郎/ 池田 直哉	長谷衣佐乃/ 安西真紀子	野村 由至	勝部 乙大/ 崎尾 浩由
禁煙外来(午後・予約制)						沼尾 利郎/ 崎尾 浩由
小児科	午後		影山さち子 (予防接種) [予約制]		影山さち子 子供養育相談ルーム [予約制](2・4週)	
外科	1診	増田 典弘	芳賀 紀裕	滝田 純子	増田 典弘	伊藤 知和
	2診	伊藤 知和	伊藤 知和	増田 典弘	勝又 大輔	芳賀 紀裕
整形外科	1診	田中 孝昭	茶藪 昌明 (初診のみ)	熊谷(第1・5週) 田中(第2・3・4週)	茶藪(第1・3・5週) 石川(第2・4週) (初診のみ)	熊谷 吉夫
	2診	小牧 宏和		敦賀(第1・5週) 茶藪(第2・4週) 熊谷(第3週)		皆川 和彦
リウマチ科 (整形外科1診)				熊谷(第1・5週) 田中(第2・3・4週)		
リハビリテーション科				茶藪 昌明	茶藪 昌明	熊谷 吉夫
装具外来		田中 孝昭				熊谷 吉夫

外来受診案内

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30～11:00迄です。
緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 物忘れ外来につきましては、地域医療連携室にて電話での予約を受け付けております。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374 (直通) FAX 028-673-1961 (直通)
担当(ソーシャルワーカー)：永山・吉田・市村・齋藤(内線133)

- 下記は入院患者さんを中心として診療しており、外来患者さんの紹介は受け付けておりません。ご了承ください。

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科	午前		田所寿剛(1.3.5) 伊藤 致(2.4)	柴田 佳優		伊藤 致(2・4週)
	午後	正和 泰斗 (15:00～16:30)	田所寿剛(1.3.5) 伊藤 致(2.4)	柴田 佳優		伊藤 致(2・4週)
腎臓内科	午後				岡田和久(2・4週)	
小児神経外来	午後	奥野 章(3週)				
歯科		渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
眼科(午後・予約制)						松原 忠之/ 和泉田真作
皮膚科(午後・予約制)			嶋岡 弥生			
耳鼻咽喉科(午後・予約制)		柏木 隆志/ 常見 泰弘/ 山川 秀致				



独立行政法人(NHO)

国立病院機構 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160
TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148
http://un-hosp.jp/